

< シリコンが老木治療に一役 >

樹木の腐食した部分をそのまま放置しておくと、そこから雑菌が入って樹木が枯れてしまいます。そこで、腐食した部分を切り取って殺菌した後、木の表面をコーティングし、治療することにより、木が枯れるのを防いでいます。

以前、コーティングにはコンクリートなどが使用されていましたが、木の伸縮や、気候の変化で木にヒビが入り、そこから水が浸透してしまい、再度腐食することがありました。そこで、現在では、弾力があって、再治療するときに切開しやすく、厳しい気候にも耐えうるシリコンが使用されるようになりました。また、シリコンは、着色が自由にでき、樹皮の色に合わせることも可能なことから、樹木の自然の美しさを保つことができます。

このように、シリコンは、一本一本の樹木の個性を大切にしながら、樹木の健康を回復させることに貢献しています。



シリコンでコーティングした樹木
(埼玉県さいたま市清河寺の大けやき)



コーティング作業の様子



拡大したところ
(左側が着色したシリコン)